

平成 30 年度社会福祉法人正清会事業報告書

法人の基本理念である「尊厳」「敬愛」「和」の具体的な実践のため、平成 30 年度の基本方針を次の4項目として、事業推進に取り組んできました。

①利用者・御家族の思いを理解し、暮らしと生活を支援する取り組みを充実する。②各事業の目的に沿った適正かつ公正な運営に努め、持続可能な経営を目指す。③人材の確保・育成に努め、定着率の向上を図り、働きやすい職場環境を目指す。④社会福祉法人の使命を自覚し、地域社会貢献に努める。

また、重点目標として、「法人経営におけるガバナンスの充実強化」、「個」を重視したサービスの充実及び質の向上」「人材の確保・育成及び定着の取組」「利用者の安全確保及び防災対策の強化」「地域貢献に向けた取組と地域との連携」「白松苑移転整備事業の取組み」の6項目の取り組みを進めてきました。

【重点目標の取り組み】

1. 法人経営におけるガバナンスの充実強化

1) 介護サービス事業における制度改正等の動向について、研修会への参加などにより情報収集を行い、法人経営の目的に沿った事業継続の方向性等について、検討を行った。

2) 毎月定例の経営会議を開催し、法人運営の課題検討や動向についての情報共有を行った。

【構成員】三好理事長、三好常務、三好理事、福永苑長(理事)、荒木事務長(理事)、
能野苑長(理事)、松本副苑長(理事)、下野総務課長

第 15 回経営会議 平成 30 年 4 月 9 日

協議題: 事業運営について、各事業所の取組方針、施設整備関係、白松苑解体工事関係、
白松苑跡地活用について、決算スケジュール

第 16 回経営会議 平成 30 年 5 月 14 日

協議題: 事業運営について、施設整備関係、白松苑跡地活用について、今後の予定

第 17 回経営会議 平成 30 年 6 月 4 日

協議題: 事業運営について、施設整備関係、白松苑跡地活用について、今後の予定

第 18 回経営会議 平成 30 年 7 月 2 日

協議題: 事業運営について、施設整備関係、今後の予定

第 19 回経営会議 平成 30 年 8 月 6 日

協議題: 事業運営について、施設整備関係、行事等、今後の予定、行事等

第 20 回経営会議 平成 30 年 9 月 3 日

協議題: 事業運営について、移転に関する関係事務手続きについて、施設整備関係、落成式
及び内覧会行事等

第 21 回経営会議 平成 30 年 11 月 5 日

協議題: 事業運営について、移転に関する関係事務手続きについて、施設整備関係、
解体工事関係、行事等

第 22 回経営会議 平成 30 年 12 月 3 日

協議題: 事業運営について、移転に関する関係事務手続きについて、施設整備関係、
解体工事関係、職員の動向、行事等

第 23 回経営会議 平成 31 年 1 月 7 日

協議題: 事業運営について、移転に関する関係事務手続きについて、解体工事関係、

職員の動向、今後の取組について

第 24 回経営会議 平成 31 年 2 月 4 日

協議題: 事業運営について、インフルエンザ発生状況について、解体工事関係、職員の動向、今後の取組について

第 25 回経営会議 平成 31 年 3 月 11 日

協議題: 事業運営について、今後の取組について、解体工事関係、

3) 法人の一体的な事業経営を目指し、各事業所が情報共有するとともに、各事業所の機能を法人として総合的に発揮し、サービス提供を円滑にするとともに経営の安定を図ることを目的に事業所管理者定例会議を行った。

第 22 回(平成 30 年 4 月 13 日)、第 23 回(平成 30 年 5 月 14 日)、第 24 回(平成 30 年 6 月 13 日)、第 26 回(平成 30 年 7 月 13 日)、第 27 回(平成 30 年 10 月 15 日)、第 28 回(平成 30 年 11 月 13 日)、第 29 回(平成 30 年 12 月 17 日)、第 30 回(平成 31 年 1 月 15 日)、第 31 回(平成 31 年 2 月 13 日)、第 32 回(平成 31 年 3 月 13 日)

4) 法人全体の事業活動収支概要

(単位: 千円)	法人計		
	平成 30 年度	平成 29 年度	増 減
サービス活動収益	915,234	856,122	59,112
サービス活動費用	852,566	864,967	▲12,401
増減差額	62,668	▲8,844	71,512
サービス活動外収益	9,003	4,102	4,901
サービス活動外費用	12,566	7,202	5,364
増減差額	▲3,563	▲3,100	▲463
経常増減差額	59,105	▲11,944	71,049
特別収益	431,400	0	431,400
特別費用	597,994	16	597,978
増減差額	▲166,594	▲16	▲166,578
当期活動増減差額	▲107,489	▲11,960	▲95,529

① サービス活動収支: 収益については、白松苑が 10 月 1 日からユニット型施設に移行したことによる介護報酬単価の差、利用料・居室料のアップなどにより対前年度 56,869 千円の増となる。費用については、職員数の減による人件費の減▲2,128 千円、事業費では白松苑移転に伴う消耗器具備品費の増 19,766 千円、事務費は同じく白松苑移転に伴う手続き関係手数料、租税公課及び修繕費の増 11,537 千円などで増減差額は 62,668 千円となった。

対前年度比較の増減差額は、71,512 千円となった。

② サービス活動外収支: 収益では、入居者の事故による損害賠償保険金、火災事故保険金、施設整備に係る東側水路改修工事補助金、特殊浴槽整備補助金等の雑収益 5,965 千円で対前年度比 4,898 千円の増であった。また費用では、支払利息 11,251 千円で対前年度比 5,382 千円の増となった。増減差額は▲3,563 千円で前年度より 463 千円増加した。

③ よって経常増減差額は、対前年度比 71,049 千円増の 59,105 千円となった。

④ 特別増減では、旧白松苑の解体工事に伴う固定資産売却損・処分損を 166,594 千円計上した。

⑤ これにより当期活動増減差額は▲107,489 千円となり、対前年度比では▲95,529 千円となった。

5) 資金運用

平成 25 年 11 月制定の資金運用規程に基づき、資金の安全確実かつ効率的な運用を図り、満期保有目的で平成 26 年 7 月に、株式会社東芝、9 月にソフトバンク株式会社の無担保社債を購入した結果、有価証券(社債)への投資残高は 91 百万円を維持していたが、東芝社債については満期償

還を行い、白松苑施設整備事業の自己資金として運用した。

購入月	銘柄	数量 (千円)	利率 %	償還日
平成 26 年 7 月	第 60 回株式会社東芝無担保社債	41,000	0.40	平成 30 年 7 月
平成 26 年 9 月	第 46 回ソフトバンク株式会社無担保社債	50,000	1.26	平成 31 年 9 月

この利息として、平成 30 年度は東芝社債 82,000 円、ソフトバンク 630,000 円、合計で 712,000 円の収入がありました。

2. 「個」を重視したサービスの充実及び質の向上

- 1) 研修等を通じて法人理念、職業倫理及びコンプライアンスの徹底とともに、職員の業務に対する士気の高揚を図った。
- 2) 利用者主体のサービスのあり方を浸透し、個別ケアの徹底のための取り組みを行った。
 - ① 職員採用時のオリエンテーションで法人理念並びに職業倫理を主とする指導を行った。
 - ② 事業所管理者定例会議・苑内会議・リーダー介護等を通じて、入居者・利用者の視点に立ったサービス提供について周知を図った。
- 3) 外部研修への参加や法人内部及び他法人との交流を促進し、サービスの質の向上を図った。
 - ① ユニットリーダー養成研修に4名参加した。
 - ② 各事業所間の人員配置及び人事交流を考慮して人事異動を行った。
- 4) 家族、地域等と連携を図り、入居者・利用者の思いに沿ったサービス提供に努めた。
- 5) 施設の適正な維持管理のため、建物補修や設備備品等の更新等を行った。

3. 人材の確保・育成及び定着化の取組

- 1) 人材の確保対策として、求人内容をホームページに掲載するとともに、ハローワークを始め、人材派遣会社や教育機関等との緊密な連携等を通じて、職員募集等を行った。
- 2) 「働きやすい介護の職場づくり支援事業」(山口県補助制度)を活用し、職員研修の充実を図った。(研修参加延人数:532人、交付決定額1,489,000円)
- 3) 採用時のオリエンテーションをはじめ、定期的な職場内研修等教育・指導体制を強化するとともに初任者研修、専門研修等の外部研修会を通じて資質の向上を図った。
- 4) リーダーを主に新人の職場内での直接指導を強化しました。
- 5) 高校・大学・専門学校等の介護人材養成機関と連携し、実習生の受入れや講師派遣等を通じて専門職の養成・育成を支援するとともに、人材確保に努めた。
- 6) 多様な就労形態の導入により、人材確保を図るとともに、職員配置や組織体制の見直しを行った。
- 7) 介護職場の核となるリーダーの資質と指導力の向上を目指し、リーダー会議を通じて、指導を行った。

4. 利用者の安全確保及び防災対策の強化

- 1) リスクマネジメント対策の強化
 - ① リスクマネジメント委員会を定期的開催し、転倒をはじめとする介護事故防止のための研修や検討会を行った。
 - ② 利用者の急変時の対応に備えて、消防署と連携し、救急救命講習を行った。
- 2) 衛生管理の徹底による感染症対策の強化

①褥瘡、尿路感染等の入居者の体調管理を改善するため感染防止委員会を開催して、事例検討会を行った。

②インフルエンザやノロウイルス対応の研修会を開催するとともに、流行する前に職員に衛生管理の徹底を図った。

3) 火災及び自然災害に対する準備や訓練の強化

①防災委員会により、施設の防災・安全対策について協議検討するとともに、防災訓練や避難訓練、地震想定訓練等を年間を通じて実施しました。

5. 地域貢献に向けた取組と地域との連携

1) 介護保険関係事業所、医療機関、福祉関係者等との連携を強化し、地域の中で必要とされる介護サービスの提供に努めた。

2) 山口市介護サービス提供事業者連絡協議会の定例会議や主催行事等に参加し、市内の関係事業者との情報交換、課題検討等を行った。

3) 阿知須地区社協理事会に出席し、地域の福祉活動の動向を把握するとともに、法人としての役割等について意見交換を行いました。また、賀宝の里や遠波の里は佐山地区社協と連携し、地域課題に対する情報交換や地域福祉行事等への参加を積極的に行った。

4) 小中学校や幼稚園等の教育機関からの体験学習やボランティアの受入れ等を行った。

5) 地域の高齢者を対象とした介護予防出張講座や百歳体操へ職員派遣を行った。

6) 山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の取組として、市内の協議会加盟社会福祉法人が一堂に会し、市民を対象とした「福祉総合相談フェスタ」(平成 31 年 2 月 19 日山口県総合保健会館で開催)を行った。

6. 白松苑移転整備事業の取り組み

1) 白松苑施設整備関係

以下のとおり、関係者等と十分調整し、着実な事業推進に努めた。

第 20 回総合定例会議 平成 30 年 4 月 25 日 (水) 工事進捗率 43.61%

第 21 回総合定例会議 平成 30 年 5 月 9 日 (水)

第 22 回総合定例会議 平成 30 年 5 月 23 日 (水) 工事進捗率 56.12%

第 23 回総合定例会議 平成 30 年 6 月 6 日 (水)

第 24 回総合定例会議 平成 30 年 6 月 20 日 (水) 工事進捗率 67.22%

第 25 回総合定例会議 平成 30 年 7 月 4 日 (水)

第 26 回総合定例会議 平成 30 年 7 月 9 日 (水)

第 27 回総合定例会議 平成 30 年 8 月 8 日 (水) 工事進捗率 82.41%

請負業者竣工検査 平成 30 年 8 月 27 日

消防竣工検査 平成 30 年 8 月 29 日

施主竣工検査 平成 30 年 9 月 4 日

建物引渡・鍵受渡、取扱説明 平成 30 年 9 月 7 日

落成式 平成 30 年 9 月 21 日

内覧会 平成 30 年 9 月 21 日・22 日

入居者移送 平成 30 年 9 月 30 日

新白松苑での事業開始 平成 30 年 10 月 1 日

2) 旧白松苑解体工事関係

以下のとおり、関係者等と十分調整し、着実な事業推進に努めた。

第1回工程会議	平成30年11月1日(木)		
第2回工程会議	平成30年11月15日(木)		
第3回工程会議	平成30年11月29日(木)	工事進捗率	9.83%
第4回工程会議	平成30年12月12日(木)		
第5回工程会議	平成31年1月10日(木)	工事進捗率	24.40%
第6回工程会議	平成31年1月31日(木)	工事進捗率	33.53%
第7回工程会議	平成31年2月14日(木)		
第8回工程会議	平成31年2月28日(木)	工事進捗率	41.61%
第9回工程会議	平成31年3月14日(木)		
第10回工程会議	平成31年3月28日(木)	工事進捗率	56.32%

法人本部

1. 理事会

1) 日時:平成30年5月31日 16:00~17:30 場所:白松苑会議室

理事総数6名、出席者:理事6名 監事2名

議事 議案第1号 平成29年度事業報告並びに収支決算について

議案第2号 第三者委員の選任について

議案第3号 経理規程の一部改正について

協議事項 1 白松苑移転改築工事の進捗状況について

2 白松苑跡地利用について

2) 日時:平成30年8月14日 16:00~17:30 場所:白松苑会議室

理事総数6名、出席者:理理事6名 監事2名

協議事項 1 白松苑移転改築工事の進捗状況について

2 白松苑跡地利用について

3) 日時:平成30年9月3日 17:00~18:00 場所:白松苑会議室

理事総数6名、出席者:理事6名 監事2名

議事 議案第1号 定款変更について

4) 日時:平成30年12月3日 17:00~18:00 場所:阿知須共立病院 役員会議室

理事総数6名、出席者:理事6名 監事2名

議事 議案第1号 定款変更について

議案第2号 評議員会の開催について

5) 日時:平成31年3月8日 16:00~18:00 場所:白松苑会議室

理事総数6名、出席者5名(三好正敬理事欠席) 監事1名(田部秀樹監事欠席)

議事 議案第1号 平成30年度第一次補正予算(案)について

議案第2号 平成31年度事業計画(案)について

議案第3号 平成31年度収支予算(案)について

議案第4号 組織規程の改正について

議案第5号 職員就業規則の改正について

議案第6号 パートタイム職員就業規則の改正について

議案第7号 給与規程の改正について

議案第8号 評議員会の開催について

報告・協議事項

- 1 理事長の業務執行状況について
- 2 白松苑解体工事経過報告について

2 評議員会

1) 日時:平成 30 年 6 月 18 日 16:00~17:30 場所:白松苑会議室

評議員総数7名、出席者:5名(小野資博評議員、藤井宏三評議員欠席) 議長:岩田秀夫評議員

議事 議案第1号 平成 29 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)について

議案第2号 第三者委員の選任について

議案第3号 経理規程の一部改正について

報告・協議事項

- 1 白松苑移転改築工事の進捗状況について
- 2 白松苑跡地利用について

2) 日時:平成 30 年 8 月 24 日 17:30~18:30 場所:江畑池クラブハウス会議室

評議員総数7名、出席者:7名 議長:坂野卓史評議員

報告・協議事項

- 1 白松苑移転改築工事の進捗状況について
- 2 白松苑跡地利用について

3) 日時:平成 30 年 9 月 12 日 16:00~17:00 場所:白松苑会議室

評議員総数7名、出席者:7名 議長:中田憲明評議員

議事 議案第1号 定款変更について

4) 日時:平成 30 年 12 月 13 日 16:00~17:00 場所:白松苑大会議室

評議員総数7名、出席者:7名 議長:小野資博評議員

議事 議案第1号 定款変更について

5) 日時:平成 31 年 3 月 26 日 16:00~18:00 場所:白松苑大会議室

評議員総数7名、出席者:6名(古谷愛子評議員欠席) 議長:藤井宏三評議員

議事 議案第1号 平成 30 年度第一次補正予算(案)について

議案第2号 平成 31 年度事業計画(案)について

議案第3号 平成 31 年度収支予算(案)について

議案第4号 組織規程の改正について

議案第5号 職員就業規則の改正について

議案第6号 パートタイム職員就業規則の改正について

議案第7号 給与規程の改正について

議案第8号 評議員会の開催について

報告・協議事項

- 1 理事長の業務執行状況について
- 2 白松苑解体工事経過報告について

1 事業概要

新施設への移転を安全、スムーズに行い、ケア体制もユニット型へ転換しました。入居者のニーズに応じた個別ケアを新しいハードとソフトを用いて行いました。従来からの明るく家庭的な雰囲気を引き継ぎつつ、入居者一人ひとりの尊厳あるその人らしい暮らしを目指しました。また、内覧会や落成式、事業開始後にも多数の施設見学者を受け入れ、地域に開かれた開放的な施設運営に取り組みました。

2 主要事業

1) 稼働率の向上

①退居を予測した早めの入居待機者の調整や、入院者空きベッドをショートステイに活用するなど、稼働率の向上に取り組んだ。

2) ユニット型特養移行への取り組み

①入居者、家族への十分な説明を行い、理解を得ながら、安全、スムーズに移転、移送を行った。

②内部研修、外部研修を通して、ユニットケアの考え方、日常生活のあり方、「食」のあり方、などユニットケア全般における知識と理解を深めながら移転後は実践をした。

③個室に入居者の性別を問わず受入れ、効率的なベッドコントロールに取り組んだ。

④食事のユニットでの炊飯や盛り付けを行い、昔を懐かしんでもらえるような入居者の嗜好にそった食事提供に努めた。

3) 職員のケアに対する意識改革、業務の見直し、効率化の推進

①各研修や会議等を通じて、全職員が理念（法人理念、福祉の理念、ユニットケアの理念）とケアのあり方を学習した。

②職業倫理やコンプライアンスについて学習した。

③ケアプランや24時間シートの活用など個別ケアの実践に向けた取り組みを行った。

④記録システムにより「情報の一元化と共有」を推進し、ケアプランや24Hシートをシステム化し、記録の効率化を図った。

⑤リーダー会議、ユニット会議を定期的で開催し、サービスの充実を図った。

⑥事故防止、感染防止に取り組んだ。

⑦オンコール対応で、夜間や休日の看護対応を強化した。

⑧移転に伴い、文書・書類の整理を行い、保管・管理体制を見直した。

4) 感染症予防対策、褥瘡予防対策及び事故予防に取り組んだ。

①感染症予防についてマニュアルや予防対策物品、管理体制の見直しを行い、インフルエンザ、ノロウィルスの蔓延の防止に努めた。

②褥瘡予防委員会を開催し、入居者の褥瘡の発生予防、早期発見、治療に取り組んだ。

③事故防止委員会を開催し、ヒヤリハットの分析や研修を行い、事故予防に取り組んだ。

5) 自然災害・火災への対策

7月24日(火) 夜間想定防災訓練(避難誘導、通報、消火)

12月17日(月) 日中想定・夜間想定防災訓練(避難誘導、通報、消火)

3月25日(月) 日中想定・夜間想定防災訓練(避難誘導、通報、消火)

6) 地域ニーズの掘り起こしや地域交流の積極的な取り組み

①山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の立ち上げ参画し、同協議会主催で地域相談フェスタを開催し、地域ニーズの掘り起こしに努めた。

②ボランティアや施設見学者を多数受け入れ、地域交流に積極的に取り組んだ。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

	入所定員	稼働率 %	平均要介護度	年間利用人員(延べ)
正規入居者	102→100	91.6 (92.9)	3.79 (3.80)	33,762 (34,597)
短期入所	17→20	95.9 (98.9)	2.33 (2.39)	6,464 (6,138)
利用者総数	119→120	92.2 (93.8)	3.56 (3.59)	40,226 (40,735)

4 事故発生の状況

平成 30 年 311 件 平成 29 年度 217 件 増減 94 件

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 30 年度	54	20	3	36	83	115	311
平成 29 年度	45	12	0	4	52	104	217
増 減	9	8	3	32	31	11	94

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

5 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見、清光園祭
5月	母の日行事(各ユニットで実施)、十七夜祭
6月	父の日行事(各ユニットで実施)、青空食事会、手づくりおやつ会
7月	七夕(短冊づくり)
8月	夏祭り、地藏尊大祭
9月	阿知須地区敬老会、敬老の日式典・演芸
10月	山口ゆめ花博観覧
11月	阿知須文化祭参加、あじすふれあい祭り参加
12月	クリスマス会、もちつき
1月	お正月お祝い膳、どんど焼き
2月	節分行事
3月	ひな祭り行事

6 定例的又は随時行われる娯楽等

- | | |
|--------------------|--------------|
| (1) 誕生会の開催(おやつづくり) | 毎月(各ユニットで実施) |
| (2) 苑内ショッピング | 毎週(水曜日) |
| (3) 一般買い物 | 必要の都度随時 |
| (4) ミニ喫茶 | 毎日 午前午後 |
| (5) おたのしみ会 | 毎月1回 |

- (6) ぬり絵・ちぎり絵 希望時 随時
 (7) 習字クラブ(個別対応) 希望時 随時
 (8) 地蔵尊縁日 毎月24日(9月まで)

7 ボランティア等による舞踏等

実施時期	内 容
5月	十七夜祭踊山、夢の劇団(大正琴・フラダンス)、コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)、
7月	コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)
10月	井関小ふれあい金管バンド、コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)
11月	対話・ふれあい(阿知須小学校)、おんちクラブ
12月	コスモス邦楽演奏(松本・岡本様)、ふれあい(阿知須幼稚園)

※阿知須幼稚園訪問 偶数月(お誕生会に参加し、利用者の手づくりカレンダーを手渡す)

8 健康・衛生に関する事業

実施時期	内 容
4月～5月	職員の定期健康診断(夜勤者・腰痛検診5月)
11月～12月	職員の定期健康診断(全員・腰痛検診)
11月～3月	入苑者・職員 インフルエンザ予防接種
毎週 月・金	医師による回診
毎月1回	精神科医による回診
毎月1回	衛生委員会及び産業医による巡回指導
随 時	口腔ケア及び指導
毎月2回	訪問散髪(きらら、ゆうとぴあ)
毎月1回	厨房職員検便(6月～10月は月2回)
毎月1回	ゴキブリ駆除(厨房 12回、居室その他年2回)
入居者入居時	入居時健康診断
入苑者誕生月	入苑者定期健康診断(レントゲン1, 2月)

9 御家族との連携に関するもの

6月30日(土) 家族会開催

10 地域交流に関する事業

(1) ボランティアの受け入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
佐山蟻の会	年間 6回	23 (24)
ともしびの会	年間 10回	49 (56)
ミントの会	年間 2回	12 (なし)

(2) 給食サービス

491食(前年度651食)一日平均2.03食(月～金)

(3) 山口市いきいき百歳体操出張指導

月 日	地 区	主 催	参加者	指導者
5月25日～11月30日	佐山	遠波シニアクラブ	112名	看護職員、介護職員

1月23日～2月13日	阿知須	ゆうゆう会	62名	看護職員
-------------	-----	-------	-----	------

11 実習生等の受け入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
社会福祉士	YIC 看護福祉専門学校	1	23
介護福祉士	中村女子高等学校	6	126
	YIC 看護福祉専門学校	3	54
	山口芸術短期大学	1	15
合 計		11	218

12 体験学習

- ・阿知須中学校2年生職場体験学習 4名 5月8日・9日
- ・阿知須小学校5年生施設見学 92名 10月25日
- ・阿知須小学校5年生施設体験学習 92名 11月13日、14日、15日
- ・山大医学部学生体験学習 3名 7月10日
- ・市町職員福祉施設体験学習 49名 10月11日・18日・25日

13 建物補修及び設備・機器の更新等

火災通報装置連動装置(三栄商事)	107,784円
スプリンクラー設備配管改修(三栄商事)	102,600円
医務室エアコン修理(中電工)	170,640円
厨房業務用ミキサー修理(フジマック)	118,800円
ベッド点検、清掃(海井医科器械)	2,635,200円
厨房温蔵庫修理(フジマック)	77,868円
厨房スライサー修理(フジマック)	160,812円
敷地入口看板表示変更(エンドウエ芸社)	89,640円
既存棟電気錠取り付け(安藤ハザマ)	54,347円

白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

IADL(手段的日常活動動作)を意識し、洗濯や簡単な調理を通して、身体を動かす機会を多く持ち、やりがいを感じて役割を持ってもらえるような働きかけを行いました。

また、介護予防事業が「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行し、地域を基盤とした高齢者の自立支援のため総合的な取組として、日々のアクティビティのメニューを増やし、自主的に選択できるようにすることで個別化を図り、非日常的な行事を取り入れ、認知面への働きかけも積極的に行いました。誕生会や季節ごとの行事、ボランティアとの交流等の御案内をすることなどに努め、利用者からも大変喜ばれ、利用促進の向上にもつながりました。

また、体験利用を希望される方に対する積極的な取組として、事前に御自宅を訪問してサービス内容を説明させていただくことにより、不安感の解消を図り安心して利用していただけるよう努めました。

2 主要事業

1) 在宅生活の継続を念頭にした、援助内容の見直しと質の高い個別ケア・機能訓練の実践

①個別対応の強化として、ADLに合わせた制作活動、外出(遊覧・見学)の実施、サービス

利用への柔軟な対応に努めた。

②家族、ケアマネジャー、関係者との緊密な情報共有を図ることで、徹底した個別ケアや機能訓練を展開した。

③外部研修や内部研修・職員定例会議を通して、利用者にあったケアの習得・質の高いサービスの提供に心がけた。

2) 職員の接客力、チームワーク、モチベーションの向上

①内部研修や外部研修を通して、利用者に対する配慮やもてなし、気配りなどの接客力の向上に努めた。

3) 利用者の満足度のアップと稼働率の増加に向けた対策

①非日常的なプログラムの展開を充実させることで、稼働率の向上に努めた。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数 306 日 一日平均利用者 24.2(24.7) 体験 25 名
40→30	70.7 (61.8)	1.47 (1.30)	

4 事故の発生状況(件数)

平成 30 年 12 件 平成 29 年度 35 件 増減 Δ23

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 30 年度	8	0	0	0	0	4	12
平成 29 年度	5	0	0	0	0	30	35
増 減	3	0	0	0	0	Δ26	Δ23

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

5 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見(桜)
5月	春の大運動会
6月	お楽しみ会
7月	七夕会
11月	文化祭作品出展・見学
12月	クリスマス会
1月	初釜(新年を祝う会)
2月	節分

6 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
教員免許	京都女子大学	1	5
	山口県立大学	3	15
介護福祉士	中村女子高校	3	9
	YIC看護福祉専門学校	2	6
介護職員実務者研修	介護労働安定センター	1	2

	合 計	10	37
--	-----	----	----

グループホーム白松苑

1 事業概要

『一人ひとりの思いを把握し、穏やかで楽しく生活していただくよう寄り添う介護に努める』を基本方針に、「その人らしい暮らしを支える」、「家族のように共に生活する。」、「地域の方とふれあいを持つ」という事業所理念のもと、地域と一体的なグループホームを目指すことに取り組みました。

2 主要事業

1) 稼働率の目標 100% (定員 18 名)

①入院等で 100%には届かなかったが、早期の入居調整などに取り組んだ。

2) 単独事業所としての機能強化を図った。

①特養の移転に伴い事業所が単独化することから、法人内の事務及び業者との手続き変更などを行った。

3) 認知症ケアとして“寄り添いのケア”による質の高いサービス提供を行う

①生け花・歌レク・カラオケ、食事時間や場所の調整、居室の設え、衣類の選択などの個別対応を強化した。

②一人ひとりの症状への対応をはじめ、認知症について定期的に職員勉強会を開催しました。

4) 運営推進会議の充実を図るとともに、地域との密接な関わりにより、地域に溶け込んだ環境づくりを進めた。

①防災訓練を併せて実施するなど、内容の充実に取り組んだ。

②自治会の夏祭りや溝普請への参加、いきいきサロンを事業所で実施、焼き芋の共同実施など地域に溶け込んだ活動に努めた。

3 介護保険事業の実績

()は前年度

入所定員	稼働率(%)	平均要介護度	年間利用人員(延べ)
18	98.3 (96.8)	2.14 (1.97)	6,458 (6,262)

4 事故の発生状況

平成 30 年度 27 件 平成 29 年 46 件 増減 △19

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成 30 年度	14	0	0	0	3	10	27
平成 29 年度	20	4	0	3	8	11	46
増 減	△6	△4	0	△3	△5	△1	△19

※その他:しりもち、転落、ずり落ち等

4 季節の行事等

実施時期	内 容
4月	花見(桜・芝桜)、牡丹見学(常盤公演)、清光園祭、誕生会
5月	十七夜祭、花の種まき参加(阿知須小学校)、バラ見学(宇部空港)、道の駅散策、

	阿知須幼稚園訪問、かしわもち作り、カステラ作り、母の日、佐山地区運動会参加
6月	蛍見学、梅もぎ参加(井関小学校)、ゴテチア・菖蒲見学(車地)、七夕飾り、防災訓練、誕生会
7月	七夕、プランター受取(阿知須小学校)、阿知須幼稚園訪問、花壇の水やり(阿知須小学校)、ドライブ、焼肉、バイキング、誕生日会
8月	花博、沖の原夏祭り参加、花壇の水やり(阿知須小学校)、ソーメン流し、夏祭り、葡萄狩り、スイカ割、誕生会
9月	十五夜、敬老会、阿知須幼稚園訪問、コスモス見学、避難訓練
10月	花博、花博風船飛ばしイベント参加、炊き出し訓練、誕生会
11月	阿知須文化祭、地域との焼き芋会、阿知須幼稚園訪問、ふれあい祭参加、誕生会
12月	しめ縄づくり、餅つき、クリスマス会、柚子湯、かんぴょう作り
1月	おせち料理、初詣、七草粥、小正月フェスタ(どんど焼き)、誕生会
2月	節分(豆まき、恵方巻きづくり)、ひなもん祭り、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、誕生会
3月	ひな祭り、童謡・唱歌を楽しく歌う集い、阿知須幼稚園訪問、河津桜見学、防災訓練、おはぎ作り、散歩、ドライブ、誕生会

5 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
4月10日	17人	活動報告、意見交換、花見(苑内)
6月6日	11人	活動報告、意見交換、防災訓練
8月1日	5人	活動報告、意見交換、夏祭り
10月3日	9人	活動報告、意見交換、炊き出し訓練
12月11日	19人	活動報告、意見交換、餅つき
2月13日	6人	活動報告、意見交換

6 ボランティア等による舞踏等

実施時期	内 容
5月	いきいきサロン
6月	琴凌流凌香会(大正琴)、夢の劇団
8月	おとずれ会
9月	邦楽(コスモス)
10月	いきいきサロン
12月	邦楽(コスモス)
3月	邦楽(コスモス)

※阿知須幼稚園訪問 奇数月(お誕生会に参加し、利用者の手づくりカレンダーを手渡す)

7 実習生等の受入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護福祉士	山口芸術短期大学	2	10
職場体験	阿知須中学校	2	2

8 建物補修及び設備・機器の更新等

エアコン修理(三冷社)	370,000 円
屋上防水シート張り替え(高砂工務店)	626,400 円
軒天修理(高砂工務店)	105,840 円

白松苑居宅介護支援事業所

1 事業概要

『自立支援のためのきめ細やかな相談対応』を目標に、利用者一人ひとりの意向を尊重するとともに、その介護者である家族の介護負担の軽減を図ることのできるサービスを実施してきました。施設入所や長期入院を余儀なくされた利用者もいたが、利用者が自宅において少しでも自立できるようにサービスの取り組みを行うことができました。

地域包括支援センターや他の居宅サービス事業所とは研修や地域ケア会議、事例検討等を通して緊密な連携を図ることを心がけ、利用者にとっての総合的、効率的なサービスの提供に役立てました。

2 主要事業

1) 介護支援専門員の教育や定期の事例検討等を行うことで、3人体制での居宅支援ができた。稼働率目標の件数には至らなかったが、次年度に向けての体制づくりを行った。

地域包括支援センターや医療機関、介護サービス事業所との連携により、利用者の状態把握を的確に行い、迅速な対応が行える様に努めた。

2) 主要な研修への参加を行い、習得した知識や技術を活用しながら、マネジメント力の向上を図り、きめ細やかな居宅支援に努めた。

3) 定例の居宅支援部会、定例の事例検討、神経内科セミナー等の参加を通して専門的知識及び技術の習得・向上に努めた。

3 事業実績（訪問回数）

年度	年間		月平均	年間		月平均	年間計	月平均
30年度	要介護	932人	77.6人	要支援	12人	1人	944人	78.6人
29年度		899人	74.9人		12人	1人	911人	75.9人

賀宝の里白松苑

1 事業概要

ユニットケアの実践はもとより、平成29年度より指定を受けたユニットリーダー研修実地研修施設の更新に伴い、各ユニットや共有空間に対する設えやケアの改善など、「ユニットケア」の更なる向上と組織体制の強化を図りました。

また、介護報酬単価の減額により減収が見込まれることから、安定経営を見据えた運営や経費の見直し、あるいは稼働率の維持・アップに繋がる対応（質の高いケアへの取り組み）などに努めました。

2 主要事業

1) ユニットリーダー研修実地研修における受講者の受入れ

実地研修施設として、前期14名、後期9名の受講者の受入れを実施。

2) 実地研修施設としての課題に対する取り組み

実地研修施設継続のための更新調査を受け、指定可の認定を受けた。また、調査時に受けた指摘事項に対して、改めて内部委員会を立ち上げて調査を行い、改善に向けて取り組んだ。

3) 各ユニット及び共有空間における設えの強化

各ユニットにそれぞれのコンセプトを設定し、それに基づいた、「家」としての設えとなるよう創意工夫を図った。一方、共有空間においても、「まち」という考え方にに基づき、「5つの憩いゾーン」となるような取り組みを行った。

4) 各部署における業務に対する意識向上

各部署及びユニットごとに月間（年間）目標を設定し、各職員の業務や役割に対する自覚の促しやモチベーションの維持を図るための取り組みを実施した。

5) 地域貢献活動の取り組み

例年と同じく、自治会活動や地域行事に積極的に参加した。

3 介護保険事業の実績

() は前年度

	入居定員	稼働率 %	平均要介護度	年間利用人員 (延べ)
正規入居者	30	96.4 (95.0)	3.87 (3.96)	10,555 (10,405)
短期入所	7	98.0 (101.7)	2.06 (2.20)	2,505 (2,598)
利用者総数	37	96.7 (96.3)	3.53 (3.61)	13,060 (13,003)

4 事故の発生状況

平成 30 年 32 件 平成 29 年 31 件 増減 1 件

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	剥離	その他	計
平成 30 年度	9	1	0	3	8	11	32
平成 29 年度	5	0	2	2	9	13	31
増 減	4	1	▲2	1	▲1	▲2	1

※その他：しりもち、転落、ずり落ち等

5 季節行事及び定例・随時行事

実施時期	内 容
4 月	花見、花まつり、清光園祭参加
5 月	母の日行事 各ユニットで実施 河内神社春祭り参加、降誕会参加(教證寺)
6 月	父の日行事 各ユニットで実施
7 月	七夕行事 各ユニットで実施
8 月	賀宝花火の会 (ご家族とともに)、佐山地区盆踊り参加、 JA そうめん流し参加
9 月	賀宝敬老会、佐山地区敬老会参加
10 月	

11月	佐山地区ふるさとまつり参加・文化祭作品出品 川西地区収穫祭参加
12月	もちつき・たこあげの会
1月	お正月お祝い膳、初詣（北方八幡宮）、佐山地区七草がゆ交流会参加、 佐山地区どんど焼き参加
2月	節分(豆まき)各ユニットにて実施
3月	ひなまつり各ユニットで実施

6 定例的又は随時行う娯楽等

- (1) 苑内ショッピング 毎週（金曜日）
- (2) 買い物 随時
- (3) ミニ喫茶 毎日（午前・午後）
- (4) 歌の会 毎月1回
- (5) おやつづくり 随時
- (6) 詩吟教室 毎月1回 *ボランティア対応
- (7) 茶道の会 毎月1回 *ボランティア対応
- (8) 習字教室 隔月1回 *ボランティア対応
- (9) 各種サークル活動 毎週1回 *生け花、映画鑑賞会、でかけよう会、カラオケ

7 ボランティア等による舞踊等

実施時期	内 容
4月	花まつり（教證寺住職・仏教婦人会）
5月	ギター演奏（おじさんズ） 歌おう会（コスモス） 琴・尺八・詩吟（邦友会）
6月	フラダンス・銭太鼓（佐山健康銭太鼓）
7月	大正琴（阿知須大正琴）
8月	サンバ（JA山口中央）
10月	ギター演奏（おじさんズ） ・歌おう会（コスモス）
12月	歌（コーラスあじす） 大正琴演奏（凌香介） フラダンス・銭太鼓（佐山健康銭太鼓） ・ギター演奏 もちつき・凧あげの教室（有志）

8 健康・衛生に関すること

実施時期	内 容
4月～5月	職員の定期健康診断（夜勤者・腰痛検診5月）
5月	入居者定期健康診断
10月～11月	インフルエンザ予防接種（入居者、職員）
11月～3月	職員の定期健康診断（全員、腰痛健診）
毎週水曜日	医師による回診
毎月1回	精神科医による回診
毎月1回	口腔ケア及び指導
毎月1回	訪問理美容

毎月1回 (6月～9月は月2回)	厨房職員検便
毎月1回	ゴキブリ駆除（厨房12回、居室その他年2回）
毎月1回	害虫駆除（厨房：小蠅 / 外周：ムカデ）
入居者入居時	入居時健康診断

9 ご家族との連携に関すること

- 1) 広報誌「かがほの風」及び「相談員だより」：毎月発行・送付
- 2) ケアプラン立案・カンファレンス等に対する家族参加：6カ月ごと

10 地域交流に関すること

1) ボランティアの受け入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
詩吟教室	毎月 1回	17 (27)
茶道教室	毎月 1回	18 (35)
習字教室 (さやま蟻の会)	隔月 1回	17 (25)
清掃作業 (仏教婦人会)	毎年 1回	19 (19)
花壇の草取り清掃 (個人)	随 時	10程度 (10程度)

* 1月～2月は、インフルエンザ流行のため中止。

2) 自治会活動参加

名 称	実 績	延人数 (前年度)
河内神社春祭り (出店手伝い)	年間 1回	3 (2)
出口管理道・公園・区有地草刈り清掃	年間 2回	6 (4)
溝普請	年間 2回	6 (6)
佐山地区ふれあい運動会 (大縄跳び)	年間 1回	10 (10)
佐山地区ごみゼロ大作戦	年間 1回	0 (1)
お薬師様接待・盆踊り会場設営、後片付け	年間 1回	1 (1)
青少協ごみ拾い	年間 1回	0 (1)
自治会総会・役員会・班長会議への出席	年間 7回	7 (7)

3) 介護予防出張講座

日 時	テーマ	地区	主 催	参加者	講師
5月21日	関節症の方の生活の工夫	佐山	サロン「虹の会」	25人	介護職員
8月29日	認知症予防	小郡	農林漁業団体	50人	介護職員
9月12日	高齢者の健康管理	佐山	ふれあいいきいき サロンぎおん会	20人	介護職員 看護職員
10月17日	栄養改善について	江崎	高見いきいきサロン	13人	管理栄養士
12月10日	排泄トラブルへの対応	秋穂二島	二島老人クラブ	9人	介護職員
2月22日	転倒骨折予防について	名田島	昭和ふれあいサロン	15人	介護職員
3月12日	高齢者の健康管理	名田島	西開作いきいきサロン	17人	管理栄養士
3月18日	薬と上手なつきあい方	佐山	サロン「虹の会」	40人	介護職員 看護職員

11 実習生等の受け入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
介護職員初任者研修	Y I C トラスト	5	60
ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	23	92

12 体験学習

- ・川西中学校職場体験学習 3名 (5月9日～11日)
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修 15名 (9月13日)
- ・佐山小学校4年生総合学習 26名 (12月18日)

13 施設見学受け入れ

- ・佐山地区民生委員児童委員 25名 (4月3日)
- ・特養山手一番館 8名 (10月15日、18日)
- ・特養やまなみ荘 7名 (11月18日、29日)

14 施設維持補修等

居室用エアコンの取付及び取替え工事 (オンダ空調)	212,600円
ぼたんユニットベランダ修復工事 (高砂工務店)	731,160円
特浴バッテリー・モーター取替え (酒井医療)	201,560円
特浴リフト座面破損及び温度表示ランプ取替え (酒井医療)	90,255円
玄関自動ドアセンサー取替え (オーカ装置工業)	52,920円
外来者用駐車場の舗装工事 (桝倉産業)	592,920円

賀宝の里白松苑デイサービスセンター

1 事業概要

地域包括支援センターや居宅介護支援事業者に対し、積極的に体験利用の働きかけを行い、新規利用者の獲得に努めるとともに、寒冷期における稼働率の低下を防ぐため、利用者や家族に対して利用の呼びかけや促しを徹底するなど、稼働率の維持、向上に取り組みました。

日常生活支援総合事業においては、体と脳の機能アップ教室に対して創意工夫を凝らして利用率のアップに繋げるとともに、自宅における日常生活の維持 (暮らしの継続) が図れるよう、家事等を行ってもらい、やりがいや役割感を持ってもらえるよう努めました。

また、体験学習や実習生の受け入れを例年通り行い、デイサービスの機能や役割についての理解を深めてもらえるよう努めました。

2 主要事業

1) 新規利用者の獲得及び安定した稼働率の維持

①地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などに対して積極的に体験利用のアプローチを行い、21名の体験利用に繋がった。うち、遠方の利用者に対する積極的な受け入れもあり、14名の新規利用者を獲得した。

②利用者の満足度をアップするために、利用者のやりたいことをリサーチしてプログラムに反

映させるなど、ニーズに応じた形で実施するよう見直しを図り、稼働率の維持に努めた。

2) 在宅生活の維持を見据えた個別ケアの実践

- ①「体と脳の機能アップ教室」においては、利用者の声を聴きながら、常に新しいプログラムの導入を意識しながら実践した。
- ②機能訓練においては、個々のADLの状態に応じた内容のプログラムを実践した。

3) 運営推進会議の充実

- ①年2回(6月・11月)実施した。デイサービスの現状、事業実績の報告、地域関係の話題、地域包括支援センターの役割などについての意見交換を行った。
- ②手洗いの重要性、手指消毒の必要性について、機器を使い実際に体験してもらい、理解を深めた。

3 介護保険事業の実績 ()は前年度

利用定員	稼働率%	平均要介護度	営業日数：308日(310日)
18 (18)	83.9 (79.7)	1.51 (1.61)	延べ利用者数：4,654人(4,446人)
			一日平均利用者：15.1(14.3)

4 事故の発生状況(件数)

平成30年度3件 平成29年5件 増減 ▲2件

事故種別	転倒	異食	誤嚥	誤薬	表皮剥離	その他	計
平成30年度	1	0	0	0	0	2	3
平成29年度	0	0	0	0	0	5	5
増減	1	0	0	0	0	▲3	▲2

※その他：しりもち、転落、ずり落ち等

5 季節行事及び定例・随時行事

時期	内 容
4月	花見、花まつり
5月	母の日行事
6月	父の日行事
7月	七夕飾り作り、季節にちなんだおやつ作り(ヨーグルトゼリー)
8月	たこ焼きパーティー、ソーメン流し、夏祭り
9月	敬老会、運動会
10月	手打ちうどん作り、
11月	マジックショー、文化祭作品づくり、おやつ作り(あんまん)
12月	クリスマス会、焼きそばパーティー、もちつき・凧あげの会
1月	絵馬作成、新年会、季節にちなんだおやつ作り(いちご大福)
2月	節分(豆まき)、バレンタインデー
3月	ひなまつり、饅頭づくり

*毎月、誕生日会(ケーキ作り・プレゼント贈呈)を実施。

6 地域交流に関すること

1) ボランティアの受け入れ

名 称	実 績	延人数 (前年度)
音楽教室 (個人)	毎月 1回	12 (12)
傾聴・話相手 (みみの会)	毎月1～2回	26 (27)
散歩付き添い介助 (個人)	週1～2回	13 (27)
マジックショー (個人)	年1回	1 (1)

2) 運営推進会議

開催時期	出席者数	主な会議の内容
6月 5日	8人	現状報告、主な事業実績、その他意見交換
11月26日	8人	現状報告、主な事業実績、その他意見交換

7 実習生受け入れ

実習種別	学 校	実人数	延人数
教員免許・介護体験	山口県立大学	3人	20人
	神戸学院大学	1人	

8 体験学習

- ・川西中学校職場体験学習 3名 (5月9日～11日)
- ・山口県身体拘束ゼロ推進員養成研修 15名 (9月13日)
- ・佐山小学校4年生総合学習 26名 (12月18日)

多機能ホーム遠波の里白松苑

1 事業概要

『家庭や地域での心豊かな生活を支える』を目標に、地域密着型介護サービスの制度の趣旨に基づき、利用者が家庭や地域で普段と変わらない心豊かな日々の暮らしを維持していくためのサービスを、「通い」「訪問」「泊まり」の手段を活用して提供しました。

2 主要事業

- 1) 稼働率 94.7%
- 2) 住み慣れた地域、住み慣れた環境の中での生活の維持を念頭にした、援助内容の見直しと実践
 - ①一人ひとりの状況に合わせ、その時々に応じ家族や職員間で協議し、柔軟に対応することで在宅生活の継続に努めた。
 - ②家族、地域住民、事業関係者と緊密な情報共有を図り、きめ細かいサービスの提供に努めた。特に、徘徊される利用者の方への支援を通じ、家族や地域との関係づくりを図った。
- 3) 地域との連携
 - ①運営推進会議を開催し、地域住民との意見交換を積極的に行い、意見をサービスに反映することができた。
 - ②地域や自治会の清掃活動や地域行事に参加し、地域との交流を図った。
- 4) 地域に開かれた施設運営
 - ①自治会活動や地域行事に積極的に参加し、また、ボランティアの方と一緒に毎月催事を開催し、地域の方々に事業所のことを理解していただけるよう努め、地域に開かれた施設運営に努めた。

3 職員研修

全職員による毎月の定例会議、苑内研修の開催や苑外研修(介護技術研修会・認知症実践者研修)に参加し、知識や技術習得に努めた。

4 実習・見学受入れ

4月4日 佐山地区民生委員児童委員協議会施設見学
 7月24～25日 宇部西高等学校体験学習
 11月14日 佐山地区健康福祉教室(笑いヨガと寸劇)
 1月28日 出張講座 笑いヨガ(鳩岡いきいきサロン)

5 防災対策

9月18日 防災訓練(避難・通報・消火訓練)
 12月21日 防災訓練(避難・消火訓練)
 3月26日 防災訓練(避難・通報・消火訓練)

6 介護保険事業の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均	日平均
登録	25	25	24	23	23	24	24	24	24	23	23	22	284	23.67	
通い	410	445	398	384	416	391	417	426	445	386	345	392	4,855	404.58	13.3
泊	231	251	217	211	242	239	232	250	266	222	192	219	2,772	231.00	7.6
訪問	100	108	96	96	97	97	107	112	126	128	122	119	1,308	109.00	3.6
介護度	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5		1.53	
稼働率	100	100	96	92	92	96	96	96	96	92	92	88		94.67	

7 季節の行事等

実施時期.	内 容
4月	花見、観音様接待、湯田足湯、カラオケ、清光園祭
5月	茶畑鑑賞、母の日行事、宇部空港バラ鑑賞
6月	紫陽花鑑賞、父の日行事、尺八・ピアノ演奏
7月	七夕見学、そうめん流し、物入れ・ストラップ作り
8月	JAそうめん流し、観音様接待、遠波の里花火大会
9月	折紙、北方八幡宮参拝、敬老会、おはぎづくり
10月	山口ゆめ花博見学、遠波の里運動会、芋ほり
11月	佐山地区文化祭・ふれあい祭り、笑いヨガ
12月	佐山小音楽会、クリスマス会、しめ縄づくり、餅つき
1月	初詣、七草粥、習字、お茶会
2月	ひなもん見学、節分、バレンタインデー
3月	ひなまつり、北向き地藏参拝

8 運営推進会議

月 日	出席者数	協議内容
5月28日	10人	認知症対応(地域での見守り)

7月23日	9人	老施協研修報告、今後の運営推進会議の議題について
9月25日	11人	阿知須白松苑新築移転について
11月26日	11人	外部評価
1月28日	11人	外部評価総括、お茶会
3月25日	12人	事故報告について